

スマートフォンなどを使えば、
表紙に関連する動画が見られます

1. 13ページの「広報紙で動画を見よう」のQRコードを読み取る

2. 「まるごと四日市」サイト内の広報紙のメニューを起動

3. 「広報よっかいち」ロゴにスマートフォンなどをかざす

※利用には無料アプリ「junaio」のインストールが必要です

表紙「四日市の文化財」
末広橋梁

特集

多文化共生社会をめざして
～すべての人が安心して暮らせる地域づくり～

「外国人」って、
だれのこと？

多文化共生講演会

特集
多文化共生



世界のレストラン「日本料理」



笹川ふれあい春まつり

多文化共生社会をめざして ～すべての人が安心して暮らせる地域づくり～

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくことをいいます。

同じ地域に住む者同士、日本人市民も外国人市民も文化的な違いを認め合いながら、互いに顔の見える関係を築くことは、地域福祉や防犯・防災など、支え合いによるさまざまな取り組みを行う上で欠かせません。

この特集が多文化共生を考えるきっかけになればと思います。



住んでみた感想は？



ブラジル
出身

20年ほど前、日本に来たときは日本語が話せず、病院に行ったときに症状を説明することができずに困りました。3年前から日本語を勉強して話せるようになってきました。

話せても、書くことが難しいので、これからは書くことを頑張ります。



台湾出身

6年前に来日した時は日本語が全く分からなかったのですが、子どもの病気で病院に行った時に、先生や看護師が英語で話し掛けてくれるなど優しい対応をしてもらえて、よかったです。

図書館や公園など四日市には子どもの遊ぶ所がたくさんあって、子育てがしやすいので、住みやすいです。



アメリカ
出身

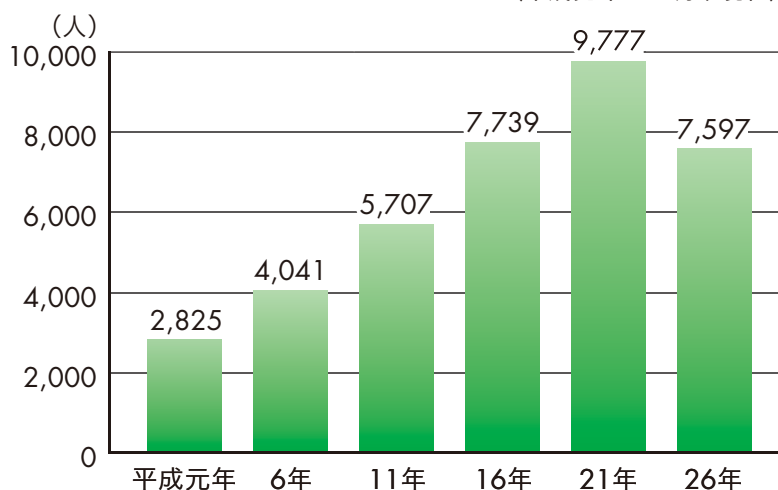
3カ月前に来日しました。母親が日本人なので、話すことはできるのですが、漢字の読み書きが難しいので、現在勉強中です。

今まで何度も日本には来ていたのですが、桜の花が咲いている時に来たことが無かったので、今年初めてお花見ができてとてもうれしかったです。四日市はいろいろな観光地からも近いので、旅行にも行きやすくていい所だと思います。

四日市の現状

■四日市市の外国人住民登録者の推移

各年3月末現在
(平成元年は10月末現在)



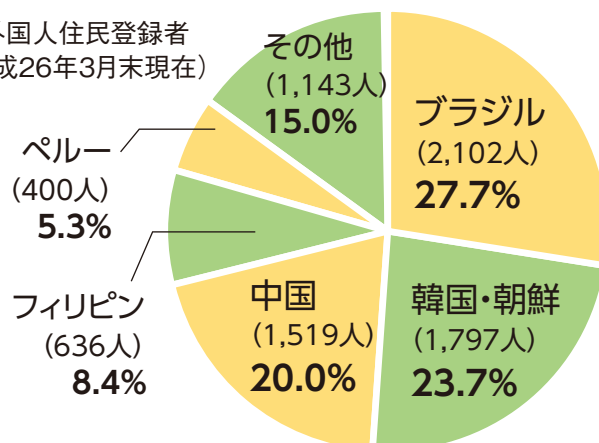
平成2(1990)年の「入国管理法及び難民認定法」の改正で、日系2、3世およびその家族は、活動制限のない「定住者」という在留資格を取得できるようになりました。

製造業の集中する東海地方にブラジルを中心とした南米から多数の外国人が仕事を求めて来日し、市内や周辺地域に外国人が就きやすい製造業などの仕事が多いことから、外国人市民の数が増えました。

■四日市市の外国人住民登録者
7,597人(平成26年3月末現在)

外国人住民登録者数は平成20(2008)年のリーマンショック以降減少傾向となっていますが、県内では最も多くなっています。

また、市内には約55カ国の国から来日した人たちが住んでいますが、ブラジルなど上位5カ国で85%を占めています。



多文化が出会い、 理解し合う共生の場 多文化共生サロン



出前講座

笹川地区の外国人市民の定住化に伴い、多文化共生モデル地区と位置付け、外国人市民も地域の構成員として地域づくりを担えるよう、多文化共生サロンを設置しています。住民同士の交流機会の提供、多文化共生にかかる情報提供や行政などへの窓口案内(ポルトガル語・スペイン語対応)とともに、日本語教室を開催しています。



生活講座



着付け講座

各種セミナーなど

防災セミナー

外国人市民の中には、地震などの災害を経験したことがない人や、日本語が分からない人も多くいることから、災害に対して正しい知識を身に付け、発災時に自ら正しい行動をとれるようにするとともに、住民同士の「共助」の大切さなどを学んでもらっています。



生活オリエンテーション

多言語化したパンフレットの作成・配布や、外国人市民と対面して行政情報や生活上のルールなどを説明する生活オリエンテーションを実施し、外国人市民への情報提供を行っています。





多文化共生
サロンでの
書道教室



YIC茶道教室
(手づくりした和菓子)

日本語学習・行政相談などでサポート 四日市国際交流センター(YIC)

外国人住民を対象に、無料の行政相談や法律相談を行っているほか、異なる文化を理解するためのイベントや市民ボランティアによる日本語教室など、さまざまな取り組みを行っています。

また、双方の理解を深めるために、外国語講座なども開催しています。

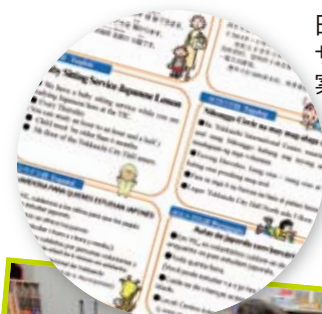


コーヒープレイク(さまざまな国の文化を
その国の言葉で話してもらいます)



YIC日本語サークル

YIC日本語サークルには、
託児付きもあります



日本語
サークルの
案内チラシ



始めてみませんか？日本語ボランティア

市役所5階の多文化共生推進室では、市内の日本語教室で、ボランティアとして外国人市民に日本語を教えていただける人を募集しています。経験や語学力は問いません。

場 所	日 時
くすのき日本語教室(なやプラザ:蔵町)	毎週日曜日 9:30~11:30
四日市日本語サークル(中部地区市民センター:西浦一丁目)	毎週水曜日 19:20~20:45
地域社会で豊かに暮らすための日本語教室(笹川東小学校:笹川六丁目)	毎週火曜日 19:30~21:00
日本語教室(多文化共生サロン:笹川六丁目)	毎週月~金曜日 10:00~11:30、13:30~16:30 第2・第4日曜日 10:00~11:30
日本語・生活文化サポート教室(多文化共生サロン:笹川六丁目)	毎週月・水・金曜日 15:00~16:30
YIC日本語サークル(四日市国際交流センター:諏訪町)	開館時間中(月曜・祝日は休館) 9:00~17:00
笹川子ども教室(UR笹川中央第1集会所:笹川六丁目)	毎週水曜日 14:45~16:30/毎週土曜日 9:30~11:30

多文化共生を支える人たち



放課後の子どもの学習支援を行う「笹川子ども教室」を開催するほか、防災知識や災害が起こった時に自ら行動するために、災害に対する心構えなどを書いた防災ノートを市と協力し作成し、防災訓練の時に活用しています。

笹川を「住みたいまち」にするために、地域でさまざまな活動をしています。

将来、笹川のまちづくりの担い手となる子どもを地域で育てることが必要と考え、ボランティアの協力を得ながら、放課後の子どもの学習支援を行う「笹川子ども教室」を以前から開催しています。昨年度からは、市、教育委員会、小・中学校と連携し、外国人の子どもだけでなく笹川に住む子どもに対象を広げ、学習習慣が身に付くよう力を入れています。

多文化共生は、それぞれの文化を尊重するだけでは、推進されません。日本語を覚えたり、日本文化や社会のルールなどを理解し、外国人市民も地域の一員となってもらえるよう、笹川に住む人が一緒になって多文化共生を進めていくことが大切です。

これからも、笹川に住む人みんなが、住んでいてよかったと思えるまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

笹川連合自治会
会長 朝妻 泰孝さん

外国人世帯の実態把握や多文化共生のための事業の企画・運営をしています。

多文化共生モデル地区担当コーディネーターの仕事は、地域の日本人市民と外国人市民の橋渡し役となることです。

まず、外国人市民の中に入り込むにはどうしたらよいか考え、笹川UR事務所の多文化共生アドバイザーさんと連携して、一緒に個別訪問を始めました。お互いに言葉が通じないことが壁になっていると考えましたが、意外に簡単な日本語で話をするので外国人市民が多いと思いました。

外国人市民が地域の一員として自立した生活を送るためには、日本語習得は不可欠です。難しい表現を避け、誰にでも分かりやすい「やさしい日本語」を活用して、丁寧な説明を行っていくことで、外国人市民の日本語習得を促進していくことが必要だと思っています。

また、まちづくりには住民同士の「顔の見える関係」を築き、相互に信頼できることが大切だと感じています。日常のあいさつから始め、一人でも多くの住民に多文化共生の理解と協力を得られるように活動を続けていきたいと思っています。



多文化共生モデル地区担当
コーディネーターの二人
関島 博さん(写真左)

団地や公園の清掃活動などを行っています。

AVANTE SASAGAWAは2年ほど前に、笹川に住んでいる日本人も外国人も住みやすい環境にするにはどうしたらいいか話し合う会議を開いたのがきっかけで結成されました。

みんなの仕事が休みになる週末に団地の階段の掃除や、公園の清掃などの活動を行っています。メンバーはポルトガル語を話す人や、スペイン語を話す人、日本人とさまざまですが、活動の合間の休憩時間は日本語で会話をするようにしているので、日本語の勉強もできて、顔見知りも増え、自然とあいさつができるようになってきました。

私たちの活動をきっかけにして、みんなが一つになって、笹川を住みやすいところにしていう気持ちを持ってもらい、自然にコミュニケーションがとれるようになることを目標に、これからも活動を続けていきます。



アバンテ ササガワ
AVANTE SASAGAWA
代表 佐藤リョウイチさん

生活関係などの相談に乗ったり、フィリピンからの情報を発信しています。

FCOYは5年ほど前に、日本での生活に困っている人を助けたい、他のコミュニティと交流を通じて、つながりを持ちたいという思いで結成しました。

私自身も日本に来た時に、言葉が分からず苦労したので、みんなが抱えている生活関係などのさまざまな問題の相談に乗ったり、県内の他のフィリピン人のコミュニティと協力し合って、フィリピンの事を知ってもらうためのイベントを開催し、その収益から寄附をしています。

また、フィリピンの新聞や領事館からの情報も発信しています。

情報を広く伝える事や、活動を知ってもらい、気軽に相談に来てもらえる環境づくりなど、大変な事もありますが、一人でも多くの人を助ける事を目標に活動を続けていきたいと思っています。



エフコイ
FCOY
アナベル タケヤマ
会長 ANABEL C.TAKEYAMAさん

日本の文化を知るために、さまざまな団体と一緒に活動をしています。

4年前に日本に来た時には、日本語や手続きも分からず、周りに友達もいなかったのが苦労しましたが、先輩や学校の先生に相談するなどして、乗り越えました。

今は大学に通いながら、とんてき協会の皆さんと一緒に四日市とんてきを全国に広める活動をするなど、さまざまな団体と一緒に活動しています。

また、去年は日本の文化に触れる事を目的に、大入道山車保存会の皆さんと一緒に大入道の山車を引きました。それまでは見ていただけだったので、とても楽しかったです。

大学に行く傍らアルバイトをしています。働くのも初めてで、面接も全て日本語だったので、緊張しましたが、アルバイト先では、学校の友達とは違う話が聞けるので、とても楽しいです。

今後もさまざまな体験や経験をして、母国の中国と日本の架け橋になれるような仕事に就き、自分の力を発揮したいと思います。



四日市大学
ツウラガ
留学生 通拉嘎さん

編集後記

今回いろいろな人にインタビューを行って、多くの人が自分の住んでいるまちをよくするために活動をしていただいていることが分かりました。今回の特集が、身近なところから行動を始めるきっかけになればと思います。

(多文化共生推進室 浅野、広報広聴課 丹羽)

毎年6月23日から
6月29日までの
1週間は
「男女共同参画週間」

パパデカラ

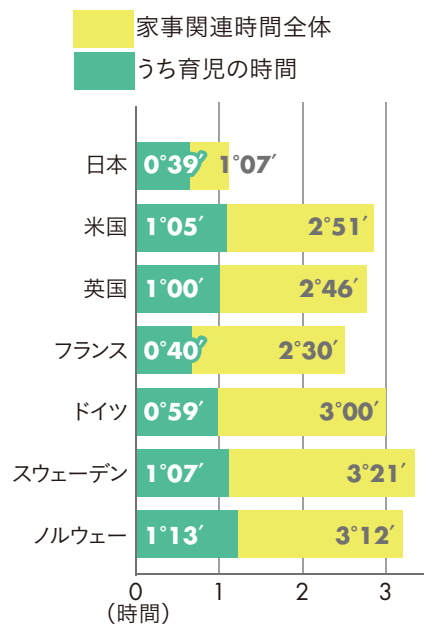
今年の
テーマは
家事場の

最近、街中でも育児を頑張るお父さん、「イクメン(育Men)」を見かける機会が多くなりました。しかし、他の先進国と比べると、日本の男性が1日に家事や育児に費やす時間は低い水準に留まっています。背景には、日本の男性の長時間労働や、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な役割分担意識の存在など、社会的な要因があるといわれています。男性が家事や育児に参画しやすい社会を実現するために、私たちにできることを考えていきましょう。

父親が家事や育児に参画すると たくさんのメリットがあります!

- ・父子の触れ合う時間が増えて絆が強くなる
- ・母親のストレスが解消され夫婦の絆が深まる
- ・出産後も働きたい女性の希望がかないやすくなる

■6歳未満児のいる夫の
家事・育児関連時間(1日当たり)



資料/内閣府「男女共同参画白書」
(平成25年度版)

市の
取り組み

父親の育児・家事への一層の参画のためには、 「社会の変革」が必要

「ワーク・ライフ・バランス」を推進

父親が家事や育児に参画するためには、長時間労働を見直し、「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)を目指すことが重要です。

男女が共に柔軟な働きができるように、事業者の皆さんへの啓発の場として、講演会や研修会を毎年実施しています。



ワーク・ライフ・バランスカセミナー(平成25年度)

父親の子育て養成講座を開催

父親の子育て参加機会と仲間づくりの場の提供として、平成22年度から「父親の子育てマイスター養成講座」をスタート。多くのパパが「子育てマイスター」に認定され、子育て支援センターで、子育て相談員(よかパパ相談員)としても活躍中です。



子育てマイスター認定式(平成25年度)

今年は全国的なイベントが市内で開催されます!

父親の育児参画をテーマとした「ファザーリング全国フォーラム」が今月、本市で開催されます! 2日間にわたり、盛りだくさんのイベントが催されますので、ぜひご参加ください。

開催日 6月27日(金)・28日(土)

会場 四日市市文化会館(安島二丁目5-3)

申し込み 詳しくはこちらで [ファザーリング全国](#) [みえ](#) [検索](#)



子育てマイスターさんたちでつくったグループ「パパスマイル四日市」も28日の分科会で登場します!



6月は
食育推進月間
です

和食の 良さを見直そう



昨年12月、「和食:日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。

日本型の食生活は、一汁三菜(ごはん^{いちじゅうさんさい}と汁物、3種のおかずからなる日本料理の基本的な膳立て)を基本としてきました。日本の食卓に健康的な食習慣をもたらしてきた栄養バランスは、世界からも注目されるほど、理想的だといわれています。この機会に、和食の良さを見直し、自分の生活に取り入れ、次の世代へつなげませんか。

次世代の子どもたちにも

学校給食でも、栄養バランスや安全性はもちろん、地場産物や郷土料理を取り入れることで、子どもたちが食文化について関心を深められるよう献立を工夫しています。

今回紹介する「肉ごはん」は、県地区の下海老町^{あがた}で、明治の初め頃から食べられてきた料理です。

県地区は田園が多く、農業を中心に生活が営まれてきました。祭りや農作業で人が集まるときに、大勢の人と一緒に食べていたと言われています。

肉ごはんのレシピ

材料(4人分)

ごはん	600g
牛肉スライス	200g
酒	大さじ1
さとう	大さじ1
たまりしょうゆ	大さじ2
青ねぎ	50g

作り方

- ① 牛肉は一口大、青ねぎは小口切りにする
- ② 調味料を煮立たせ、牛肉を煮る
- ③ 青ねぎを加えて、ひと煮立ちさせる
- ④ ③を煮汁ごとごはん^{あがた}に混ぜる



伝えていきたい 和食の魅力

ユマニテク
調理製菓専門学校
副校長 宇佐見靖夫先生



「和食」が無形文化遺産に登録されたのは、和食を「食文化」という貴重な遺産と捉え、守り、伝えていくことが目的とされていますが、食の多様化により選択肢が増え、和食離れが進んでいます。また、個人のライフスタイルも多様化し、家族がそろって食事をする「だんらん」の機会が減ってきているようです。

和食は、季節の素材の持ち味を生かした調理法で、味覚を大切にします。料理を美しく盛り付ける工夫や、食器も含めて季節感があります。また、四季折々の行事との密接な関わりもあり、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆が深まります。

私たちの食文化(魅力ある「和食」)を守り、つなげていくために、ぜひ家庭で、和食を「味」だけでなく、「見た目の美しさ」や「匂い(香り)」などを楽しみ、季節を感じながら食卓を囲んでみましょう。和食の魅力をさらに発見できると思います。

地元の
食材や食器も
楽しみながら

本市は古くから良質の水に恵まれ、お茶、野菜、果物、そうめん、清酒など、さまざまな食材が受け継がれてきました。また、地場産品の一つである萬古焼でも、土鍋や急須、陶板などが多く生産されており、私たちの食生活に深く関わっています。

地元の食材や、食器も楽しみながら、伝統をつなげていきたいですね。



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：6月11日～7月10日 9:00・19:30

○防犯活動を行うきっかけ

平成16年ごろの川島地区は空き巣、車上狙いなどが頻繁に発生していて、何か対策を打たなければいけない待ったなしの状態でした。地域としても何かしなければいけないということで、当時、私を含め、退職後の第二の人生を迎えた数名で行動を起こすことになりました。何をやったらいいかわからない中で、まず最初に地域内を歩くことから始めました。歩き続けているうちに、歩いている間の視点が変わってきました。例えば、いつもと違う車が止まっていないか、茂みに人影はないかなど、さまざまなことを注意して見るようになりました。

○地道に歩くことを続けてきました

こういったパトロールは地域住民自らが長く続けることが大事と考え、パトロールの頻度や時間帯を無理のないものにして、生活のリズムの中に入れるようにしました。現在では週2回1時間程行っています。

パトロールというと気負ってしまい、家の敷地内の確認や通行人に聞き取りなどをしなければと考えがちですが、警察ではありませんので、そのような権限はありません。私たちのパトロールはすぐに結果が見えるものではないので、住民の皆さんに私たちの活動が認知されるまでは、パトロールをする意味があるのか悩んだこともありました。



しかし、「自分たち

パトロールの様子



もり た のぶ しげ
森田信重さん

地域の防犯活動に長い間、地道に取り組んできた、川島地区防犯協議会の会長である森田信重さんにお話を聞きました。

のまちは自分たちで守ろう」という思いのもと、地道に地域内をみんなで歩き続けてきました。

○10年やり続けた結果

今日まで10年やり続けた結果、地域内の大きな犯罪は減り、私たちのやってきたことが犯罪の抑止につながっていると感じています。私たちのパトロールは、パトロールを行っている姿が目につくことが重要だと改めて認識しました。また、最近では住民の皆さんにも私たちの活動が認知され、パトロール中に感謝の言葉をいただいたり、小学生からも声を掛けられたりして、励みになっています。

○地域にお返しをしたい

パトロールを行っている人たちが高齢化しているので、活動の後継者不足が課題です。

この課題への取り組みも含めて、今後も地域に住んでいる者として地域にお返しをしたいという思いで、地道に活動を続けていきます。そして、この活動が市全体に広がればと願っています。



有料広告掲載欄

みなと総合法律事務所

弁護士 杉岡 治 弁護士 森川 仁
弁護士 森田明美 弁護士 山本伊仁
弁護士 村林敏也 弁護士 青木 透

(三重弁護士会)

☎(059) 354-3355(代)

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝除く)

【取扱業務】

商取引・不動産問題
交通事故などの損害賠償
相続・遺言・遺産
離婚
破産・民事再生・債務整理
労働問題
刑事弁護
会社顧問・その他全般

近鉄百貨店
バス・タクシー
近鉄四日市駅前
徒歩3分
ミニミニ
至 津
三重県四日市市浜田町6番11号サムティ四日市ビル7階
「お車でお越しの際は近鉄・JICA・くすの木(4番出入口)などの口をご利用下さい」

まずはお気軽に、ご相談下さい
相談料 60分 10,000円 30分 5,000円(各税抜)

<http://www.pss.ne.jp/~hisho>
みなと総合法律事務所 四日市 | 検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の
地区自慢

橋北

『元気のあるまち 元気の出るまち』橋北

橋北地区は、中心市街地の北に位置し、海蔵川と三滝川に挟まれ、古くは地区を通る東海道沿いに栄え、当時は四日市の文化や生活の中心となった地区です。現在は国道1号、23号や近鉄、JR線が地区内を通り、交通の要所となっています。また、市の地場産業である「萬古焼」の主産地でもあります。

萬古焼と四日市萬古まつり

本市における萬古焼の始まりは、明治時代に、末永村の山中忠左衛門が失業者や三滝川、海蔵川の水害に苦しんでいた農民を救済するため私財をなげうって、地元の人たちが担い手となる地場産業の育成に尽力したことによります。



四日市萬古焼の土鍋

四日市萬古焼は、昭和54年に国の伝統工芸品に指定されました。急須や土鍋が有名ですが、特に国産土鍋の国内シェアは約8割を占めています。

毎年5月の第2土曜日と日曜日には、萬古神社周辺で「四日市萬古まつり」が開催され、数多くの店が立ち並びます。



四日市萬古まつりの風景（5月10日、11日開催）

今年も
たくさんの人に
ぎわったよ！



四日市萬古焼
キャラクター
ポッターくん©

地区内で総合的なまちづくりが進行中！

現在、近鉄川原町駅周辺では鉄道の高架化に向けて、工事が着々と行われています。

平成26年秋には下り線（四日市駅方面）が、平成28年には上り線（名古屋駅方面）が開通する予定です。

さらに、現在実施中の三滝川河川改修事業も平成28年度完成を目指しています。すでに完了している新明治橋、国道365号関ヶ原線、国道477号西浦バイパス道路改良事業と合わせ、総合的なまちづくりが進められています。



高架化中の近鉄川原町駅

笑顔と活力にあふれる個性豊かなまち

地区の人口比率では、65歳以上の割合が3割を超えていますが、元気な人が多く、グラウンドゴルフ、ノルディックウォーキングなどのスポーツが盛んに行われています。

また、住民の主体的な取り組みとして、花いっぱい事業を展開し、地区内の公園や道路沿いを四季折々の花で飾っています。橋北通りはフラワーロードと呼ばれるまでになり、通行する人々に潤いを与えています。



花いっぱいの橋北通り

問い合わせ先

橋北地区市民センター
(☎331-3787 FAX330-0220)

有料
広告
掲載
欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



随時加入者
募集中
建労
四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金（42万円）
葬祭費（本人10万円・家族7万円）
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助（3万円）
脳ドックに対する補助（2万円）など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～熱中症に注意しましょう～

熱中症は、暑い所で過ごした時に、体の中の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節がうまくいかないことで起こります。

特に、高齢者は、温度に対する感覚が弱くなるため、熱中症にかかりやすくなります。

市消防本部によると、平成25年度に熱中症で救急搬送された患者（疑いを含む）のうち、半数近くが65歳

あなたがキラメキ健康づくりのヒントをお伝えします。今月は、「熱中症予防」についてです。

以上の高齢者でした。幼い子ども、病気になる人、肥満の人にもかかりやすいので注意しましょう。また、急に暑くなった日や気温・湿度が高い日、風の弱い日も注意が必要です。

【予防のポイント】

- ☆喉が渇く前に、小まめにお水やお茶を飲む。たくさん汗をかけた時は、塩分の補給も行う
- ☆室内では、小まめに温度を測り、室温が上がりにくい工夫をする
 - ・28度を目安にエアコンを使用
 - ・扇風機やすだれの利用、換気など
- ☆屋外では、帽子や日傘を利用
- ☆通気性、吸湿性のよい服を着用

- ☆日頃から体調管理に気を配る
 - ・栄養バランスのよい食事、十分な睡眠、暑さに負けない体づくり
- 熱中症が疑われる人を見掛けたら、涼しい場所へ移し、体を冷やし、水分・塩分を補給させましょう。



問い合わせ先

健康づくり課

(☎354-8291 FAX353-6385)



「ちえふろう」は、市民・消費生活相談室のイメージキャラクターです。

～マルチ商法にご用心！

簡単に稼げるはずだったのに～

【相談事例】

友人に誘われた食事の席で、健康食品を販売する会社の人と知り合った。健康食品を買って会員になり、新たな会員を紹介するだけで簡単にもうかると言われた。会員になり、ローンを組んで健康食品を購入したが、勧誘がうまくいかず、支払いが大変なので解約したい。

市民・消費生活相談室に寄せられた相談から、安全・安心な消費生活を送るために役立つ情報をお知らせします。

【アドバイス】

事例のように、組織に加入した人が、次々に友人などを勧誘し、ピラミッド型に会員を増やしながら商品を販売していく商法をマルチ商法（連鎖販売取引）といいます。

マルチ商法は、商売知識のない人が販売するため、思うように売れなかったり、個人の人間関係を利用して勧誘するため、強引に誘って人間関係が壊れてしまったりするなど、トラブルが起こることも少なくありません。

マルチ商法は、契約書面を受け取った日を含めて20日以内であれば、

クーリング・オフができます。また、

中途解約返品のルールも設けられていますので、困ったら早めにご相談ください。



■この記事に関する問い合わせ先
市民・消費生活相談室
(☎354-8147 FAX354-8452)
■悪質な訪問販売などの相談
相談専用電話 ☎354-8264
受付日時 月～金曜日
(祝日・年末年始を除く)
9:00～12:00、13:00～16:00

四日市市文化功労者受賞

日本舞踊 西川流
里寿会五十周年記念舞踊会

日時/平成26年7月20日(日) 10時開演

場所/四日市市文化会館 第2ホール

里寿会

主催/里寿会
後援/四日市市 四日市市教育委員会 四日市市文化協会 中日新聞社
【お問合せ先】西川里寿社中 059-365-0027

市議会

議長に中森慎二議員 副議長に樋口博己議員
監査委員、議会運営・各常任委員会委員も決まる

5月開会議会が、5月14日・15日に開かれ、平成26年定例会の会期を平成27年4月30日までの352日間と決定し、議会役員が選出されました。(敬称略)

■議会事務局 (☎354-8257 FAX354-8304)

■議会選出監査委員 石川勝彦 野呂泰治

■議会運営委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

◎加納康樹 ○伊藤修一 石川善己 小川政人 川村幸康 笹岡秀太郎
竹野兼主 土井数馬 豊田政典 中川雅晶 三平一良 毛利彰男 諸岡 覚

■常任委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

総 務 ◎森 康哲 ○石川善己 笹岡秀太郎 日置記平 樋口龍馬
藤井浩治 毛利彰男 山口智也 山本里香
教育民生 ◎中川雅晶 ○川村高司 石川勝彦 小川政人 土井数馬
豊田政典 野呂泰治 樋口博己 諸岡 覚
産業生活 ◎伊藤 元 ○村山繁生 伊藤修一 伊藤嗣也 加藤清助
小林博次 中森慎二 早川新平 芳野正英
都市・環境 ◎竹野兼主 ○荒木美幸 加納康樹 川村幸康 杉浦 貴
中村久雄 三平一良 村上悦夫 森 智広
予 算 ◎諸岡 覚 ○早川新平 ほか議長を除く全議員
決 算 ◎三平一良 ○芳野正英 ほか議長および議会選出の監査委員を除く全議員



中森慎二議長



樋口博己副議長

表紙こぼれ話

末広橋梁は、四日市港の千歳運河に架かる跳開式の鉄道用の可動橋です。昭和6(1931)年の製作で、橋の中央部が、門型鉄柱に架かるケーブルで持ち上げられ、上下します。

普段、橋は上がっていて、貨物列車が通るときに、橋がゆっくりと下がります。

このような可動橋は、明治以降、全国で80ほど作られましたが、鉄道用で現在も動いているのは末広橋梁だけです。



今年度の表紙のテーマは、「四日市の文化財」です。



跳ね上がっている状態(末広橋梁)

末広橋梁の300メートルほど南側には、道路用の跳開式可動橋「臨港橋」がかかっていて、船の航行時には2つの可動橋がそろって跳ね上げられた光景を見ることができます。

■問い合わせ先 広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

広報紙で動画を見よう

下のQRコードを読み取って、オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね！今回は、「伊坂ダム」を紹介するよ！



四日市市のゆるキャラ®
「こにゅうどうくん」



「まるごと四日市」
のサイト

掲載記事の訂正

5月下旬号13ページ「市営住宅入居者定期募集」で、ファクス番号を「345-8404」と記載しましたが、「354-8404」の間違いでした。お詫びして訂正します。

有料広告掲載欄

『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』で

お困りではありませんか？

借金
借金で困っています。会社やお店はどうすれば…？

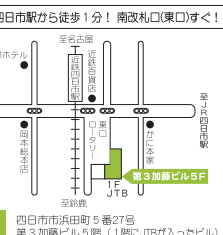
交通事故
保険会社の対応に納得できません。これからの交渉はどうすれば…？

相続
遺産分割の話し合いができています。

離婚
調停や裁判の対応の仕方がわかりません。

「安心してご相談ください！
お一人お一人私が丁寧に
対応します！」

まずはお電話ください！



尾市法律事務所

弁護士 尾市 淳二 (三重弁護士会所属)

◆土曜日や夜間も対応可(要予約)◆
☎《予約制》059-350-2080

(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
◆一般法律相談料(初回) 30分 5,000円(税別)◆

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



トッキーの 市政トーク

四日市市長
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキー
こと、市長の田中俊行です。

近鉄内部・八王子線については、
多くの皆さんのご要望を受けて、
昨年9月に「公有民営方式」での
存続が合意されたところです。1
年半に及ぶ交渉の中で、近鉄側か
ら、鉄道施設・車両の無償譲渡
や土地の無償貸与、さらには8億
円の協力金など、大きな歩み寄り
がなされ、市としても、公益性の
高い事業として予算化することを
決断しました。

そして、このたび、平成27年度

四日市あすなろう鉄道 発進!!

から同線を運行する新しい会社を
設立し、社名を「四日市あすなろ
う鉄道株式会社」と決定しました。

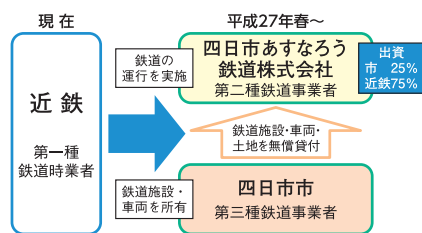
この名前には、未来への希望(明
日に向かって)や、内部・八王子
線の特徴であるナローゲージ(特
殊狭軌:線路幅762mm)、さら
には、将来にわたって市民の皆さん
とともに育てていく鉄道という思
いが込められています。

今後は、国の認定を受けて鉄道
事業者となるための計画を平成
26年度中に策定していくことにな
ります。

具体的には、「地域公共交通総合
連携計画」と「鉄道事業再構築実
施計画」の2つの計画を策定し、

平成27年度から、新体制での運行
開始を目指しています。

100年以上の歴史を持ち、また
全国で3カ所しかないナローゲー
ジでの鉄道は、本市の貴重な地域
資源でもあります。利用促進に向
けて、近々、「利用促進協議会」を
設立し、知恵と力を結集してい
きたいと思いますので、皆さんのご
支援とご協力をよろしくお願いい
たします。



三重県総合博物館の開館記念式典

4月18日(金)、津市で三重県総合博物館の開館記
念式典が行われ、三重県市長会の会長として出席し
ました。

新しい総合博物館は、三重県の自然・歴史・文化
を多角的に取り上げ、県民や利用者と博物館が共に
学び、成長することを活動理念としています。

本市でも、市立博物館とプラネタリウムをリニュー
ーアルし、館内に「(仮称)四日市公害と環境未来
館」を併設する工事を進めており、来年3月にオー
プンする予定です。今後は、
三重県総合博物館など他館と
の連携を深め、より多くの
人に来館していただけるよう、
グレードの高い総合的な情報
発信施設を目指していきたい
と考えています。



最近のトピックス

新茶初市

今年も新茶の季節を迎え、4月29日(祝)、新茶初
市が水沢茶農業協同組合で行われました。

初市は、茶業関係者の皆さんにとって、1年を占
う意味でも大変重要なものです。昔ながらの5つ玉
そろばんを使って活発に取引がなされ、成立するた
びに威勢のよい手締めが会場内のあちこちで鳴り響
きました。

近年、急須で入れたお茶を味わう機会が減ってい
ますが、初市会場の香ばしいお茶の香りと取引の熱
気に触れて、本市の地
場産業としてのお茶の
魅力を再認識すると
ともに、四日市産のお茶
を多くの人にアピール
していく必要性を改め
て感じました。



新茶初市での取引の様子

有料広告掲載欄

くわしん

カーライフローン

平成26年4月1日(火)～平成26年9月30日(火)

【適用金利】

5年以内 年1.20%～年3.00%
5年超10年以内 年2.20%～年4.00%

※ 詳しくは、右記店舗窓口までお問い合わせ下さい。

■お使いみち

新車・中古車の購入、車検・車の修理費用、免許取得費用他、お車に関する資金。

■ご融資金額

500万円以内

■ご返済期間

3ヶ月以上10年以内



桑名信用金庫

四日市西支店
TEL 351-2577
生桑支店
TEL 332-8181
羽津支店
TEL 332-2233
大矢知支店
TEL 364-3311
川越支店
TEL 364-8811

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,636人[4月末日現在(前年比-581)] ■火災件数 11件[4月分(前年比+3)] ■交通事故件数 865件[4月分]